

事務事業評価表 平成24年度

政策 安心を感じる保健・医療・福祉の充実
 施策 子育て環境の充実
 基本事業 地域子育て支援の充実

事業名 **子育てサロン事業**

[0757]

部名	健康福祉部	事業開始年度	平成18年度	実施計画事業認定	対象
課名	子育て支援室保育課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 就学前児童と保護者
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 子育てに関する情報交換や保護者がリフレッシュできる地域子育て支援を行う
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 子育てサポーターの活動などにより地域における子育て支援の場(サロン)を創設する。

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	21年度実績	22年度実績	23年度実績	24年度当初
対象指標1	就学前児童数	人	5,004	4,867	4,852	4,852
対象指標2	就学前児童の保護者数(把握困難)	人				
活動指標1	子育てサロンの数	力所	4	4	4	4
活動指標2	子育てサポーターの延活動人員数	人	120	107	87	110
成果指標1	子育て事業参加者数	人	1,658	1,770	1,668	1,700
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計(A)		千円	225	235	225	247
正職員人件費(B)		千円	3,319	3,224	3,210	6,070
総事業費(A)+ (B)		千円	3,544	3,459	3,435	6,317

費用内訳	
23年度	報償費 20千円、需用費 187千円、役務費 8千円、使用料及び賃借料 10千円

事業を取り巻く環境変化

事業開始背景	子育てサポーターなど地域の子育て支援の場の創設を行う	事業を取り巻く環境変化	
--------	----------------------------	-------------	--

23年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由・
根拠は？

地域の人材をボランティアスタッフとして協力してもらい運営しており、地域に密着した支援が可能となり、子育てを通じた地域の人材育成とともに地域コミュニティの醸成が図られることから妥当である。

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由・
根拠は？

子育て中の親にとっては、子育て情報の収集や相談など、子育てに関する負担や悩みの軽減に繋がり、子育て支援の環境充実が図られるとともに、交流の場を提供することにより、地縁的人間関係の希薄化の中においても、子育てを通じたネットワークが生まれるなど貢献度は大きい。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由・
根拠は？

地域のボランティアスタッフにより自治会館などを活用し実施しており、身近な子育て支援体制として利用者も増加している。また、広報活動により、事業に対する認知度も増している。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小 なし

理由・
根拠は？

自治会館等を活用し実施していることから、地域での冠婚葬祭等の行事が優先され実施できない場合があるが、ボランティアスタッフとしての地域人材の活用・協力を図り、開催地域の拡大につなげていくことにより向上する可能性がある。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由・
根拠は？

事業運営に係るスタッフは全てボランティアであり、必要最小限の経費で運営していることからコスト削減の手立ては見出せない。